

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	都市型ホテル（支配人）	・Go To Travelキャンペーンに加え、様々な地域限定クーポンや独自プラン等の効果で、順調に宿泊予約が入ってきている。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスに対する政府の経済支援策も功を奏していることから、新しい日常の経済体制が確立されてきている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・ホームページを見てくれる件数も増えてきている。また、朝晩寒くなり気温の変化も大きくなっている。依頼に来る高齢者は、新聞広告の切り抜きを必ず持っているという状況なので、良くなる感じがしている。
	○	商店街（代表者）	・Go To事業と新型コロナウイルス感染拡大とのバランス次第で、どちらに転ぶか読めない。宿泊関連の予約状況を聞くと年明けまでは期待できそうである。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンなど、地域活性化の動きもあるため、やや良くなる。
	○	その他専門店〔貴金属〕（営業）	・以前ほど、新型コロナウイルスを気にしない人が増えたようである。
	○	高級レストラン（経営者）	・コロナ禍のなかではあるが、外出や消費の動きが感じられるようになってきている。
	○	一般レストラン（経営者）	・市の補助金を使って宣伝活動を行っている。Go Toキャンペーンによる客の増加を期待している。
	○	スナック（経営者）	・少しずつだが良くなってきているので、このまま推移してもらいたい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・Go Toキャンペーンが大きくプラスの効果をもたらしている。新型コロナウイルスの感染リスクは増加するかもしれないが、10月からのGo To Travelの東京解禁後からは、各段に動きが増えており、個人利用はまだ伸びる気配を感じる。後は法人、団体利用によるところが大きいので、そちらの動きが出てくれば、コロナ前の前年実績を大きく超えるのではないかと。
	○	通信会社（社員）	・県内の新型コロナウイルス感染者数も落ち着いており、街なかでの動き等を見ても、自粛イメージはない。今のところ、マイナスになる要素はなさそうである。
	○	観光名所（職員）	・我々のような観光事業は、国や自治体のキャンペーンに随分助けられたと感じている。ただし、インバウンド客の多かったスキーシーズンは、どうなるか不透明である。
	○	ゴルフ場（経営者）	・地元ゴルファーの多い地方のゴルフ場だが、新型コロナウイルス対策をしっかりとし、安心してプレーできる環境にしている。売店商材も、秋から冬への健康的な野菜や果物を中心に販売し、好評を得ている。
	□	商店街（代表者）	・今の小売店をみていると、いつ景気が昔のように戻るかは、一つも読めず、半分諦めている。このままだと何とか生き残る形を考えなければいけない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・振興券等の施策により、商材の動きは出てきているが、施策によるところが大きく、その後は再び厳しい状況になると予想される。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の消費意欲を起こさせるために、プレミアム付商品券等を早く発行してほしい。
	□	百貨店（営業担当）	・コロナ禍のなかで、少しずつ消費は動いてきてはいるが、今までのように戻る可能性は非常に少ない。これからも現状の低空飛行が続いていく。
	□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が読めないため、先は見通せない。
	□	スーパー（経営者）	・フランスでも再び外出制限が出されており、日本も同じことが起こるのか心配である。新型コロナウイルスが早く収束してほしい。
	□	コンビニ（経営者）	・前年の売上より増えるということはなく、横ばいか若干下回るくらいだと思うので、その辺りを加味して変わらないと判断している。
□	コンビニ（店長）	・今後、地域のプレミアム付商品券が使われるようになるが、それとようやく前年並みを確保できるかどうかの状況だと思うので、余り良い方向には向かっていない。	

	□	衣料品専門店（経営者）	・簡単に景気が戻るとは思えない。
	□	家電量販店（店長）	・景気の低迷を感じており、当面改善が見込めない。
	□	乗用車販売店（経営者）	・冬季に向かい、新型コロナウイルスの脅威が残るなかでは、現状からの大きな改善は見込めない。
	□	スナック（経営者）	・間もなく忘年会シーズンに入るが、今年は恐らく異例の状態、大人数での飲食等もないだろうし、ほどほどで余り見込めないと思っている。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・10月が良かっただけに、11月もこの勢いで同じくらい伸びるとみている。ただし、10月を上回ることはないと思っている。いまだに法人宴会、一般企業の動きが鈍い。
	□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスがどうなるかによって、この先は変わらと思うので、今のところは分からない。現状が続いていくのではないかと。
	□	通信会社（経営者）	・年末年始まで現状が続くと、厳しい状況に変わりはない。
	□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・インフルエンザの流行時期にもなり、感染予防対策はしっかり取らなければならない。G o T oキャンペーンなど景気回復策も出てきているが、厳しい状況はまだしばらくは続くと思われる。
	□	設計事務所（経営者）	・大規模物件も幾つかあり、当分は忙しい状況が続くとみている。
	□	住宅販売会社（経営者）	・G o T oキャンペーンの効果等により、当地にも観光客が戻りつつあるが、限定的に終わらないよう期待する。
	▲	商店街（代表者）	・先行き不透明では、方針が打ち出せない。
	▲	スーパー（経営者）	・雇用が弱くなっているので、家計収入の減少が心配である。
	▲	スーパー（経営者）	・G o T oキャンペーンが活発になり、家庭での食事の減少は競争に拍車を掛ける。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・小売業としては催事も多く稼ぎ時となるが、新型コロナウイルスの影響や天候不順が多い当県では外出する回数も減り、消費が冷え込むとみている。
	▲	乗用車販売店（経営者）	・5か月連続で改善しているといわれているものの、客から直接伝わってくる景況の実感、いまだ厳しい状態にある。
	▲	観光型旅館（経営者）	・これから、忘新年会、自治会の慰労会、同級会等、地元の高齢者の団体利用が主となる時期のため、かなり苦戦が予想される。ただし、G o T o E a t も始まるので、どのように動かすか注目したい。1月まではG o T o の需要があるので、そこそこ期待できるが、2月以降はかなり厳しい。そうかといって、G o T o ばかりに頼ってもいられないので、徐々に割引率を下げながら、何か旅行喚起策を実施してもらえたいことを期待したい。
	▲	旅行代理店（副支店長）	・G o T o 事業の延長や海外旅行の回復がみられない限り、事業終了となった時点で、客の動きは止まる。現在は、今まで自粛していた反動とG o T o 事業により動きが活発だが、先は全く見通せない。また、地方も新型コロナウイルスの影響で、経営的に厳しい企業が増加しており、旅行への消費を避けるとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのため、将来が見通せない。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・先行きは非常に不透明である。冬に向かうこともあり、個人客はまだ良いが、飲食店や企業等の外部環境が果たして年末に良くなるかという、そうは思えない。今は良いものの、今後は非常に難しくなるのではないかと。
	×	スナック（経営者）	・今のこの状況のなかで、良くなる要素は1つもない。飲食店などは、全国的に倒産の様子も多いのではないかと。本当に困っている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（総務担当）	・W i t h コロナの状況次第という点は考慮が必要だが、業界の最需要期を迎え、てこ入れを図るので売上を伸ばすと考える。
	○	金融業（経営企画担当）	・政府によるG o T o キャンペーンが徐々に浸透してきていること等を踏まえ、景気は少しずつ回復傾向に向かうと考える。ただし、本格的に回復するには、新型コロナウイルスのワクチンが開発される等、感染拡大が今以上に落ち着かなければならない。

	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・年末に向け、G o T o関連のキャンペーン、各市町村によるプレミアム付商品券等、消費促進対策が実施されることで、イベントや売出等が増えてくれば、現在より良くなる。
	□	食料品製造業（営業統括）	・業界では各種イベントを考えているが、新型コロナウイルスの影響で、中止や人数制限もあり、従来のような盛り上がりは期待できない。また、酒税増税の影響も心配されるところである。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・海外需要の回復にばらつきがあることや、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、先行き不透明感が増しているため、変わらないのではないかと。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・年内は現状維持が続くものの、1月以降は落ち込みそうである。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス収束の展望が見えてこなければ、景気回復にはもう少し時間が掛かるのではないかと。
	□	金融業（調査担当）	・最悪期からは脱したが、製造業では外需の動向、非製造業では新型コロナウイルスへの不安払拭が、どの程度進むのか。先行きが不透明な情勢が続くため、大きな改善には至らない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・前年の台風の影響も残っており、利益については、原料価格の高騰で非常に厳しい状況のままである。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・東京オリンピック関連の受注も見込めるものの、新型コロナウイルス感染拡大の動きと合わせると、見込み大とはいえない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず、資金繰りが大変である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・受注確定している案件が少なく、見通しが付かない。取引先でも景気の良い話は聞かない。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・多人数での会食の自粛により、人と会ったり会食する機会が減っている。そのため、宝飾品を勧めても、「着ける機会がない」という理由で断られてしまう。この状況が続くと、消費者の宝飾離れが心配である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・卸、小売業や製造業でも宿泊や飲食業者相手の取引は、新型コロナウイルスによるコロナ禍で不調であったが、今後は宿泊、飲食業の回復により、良い効果が波及されるとみている。
	○	職業安定所（職員）	・コロナ禍が慢性化し、それが日常になってきている。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せないなか、今後も厳しい状況が続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・企業が1か月に休業する日数は明らかに減少してきているが、求人数が増加しない。ヒアリングを行ったところ、「先行きが不透明なので欠員補充を保留している」という企業も少なくない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・激減が続く求人は、好転の兆しがない。一部企業は持ち直し始めているが、ごく僅かである。
	▲	*	*
	×	人材派遣会社（営業担当）	・年末ボーナスの支給どころか購買意欲が湧く状況ではないが、ライフライン関連企業等はさほど影響を受けないので、求職者等にはそうした情報提供をしたいと考えている。